

浜の活力再生プラン
令和 6 ～ 1 0 年度
第 3 期

1 地域水産業再生委員会

組織名	西網走地域水産業再生委員会
代表者名	石館 正也（西網走漁業協同組合 代表理事組合長）

再生委員会の構成員	西網走漁業協同組合、網走市
オブザーバー	北海道オホーツク総合振興局産業振興部水産課 北海道漁業協同組合連合会北見支店

対象となる地域の範囲及び漁業の種類	<p>地域の範囲：北海道網走市及び大空町女満別</p> <p>漁業：対象漁業種類 着業者数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワカサギ漁業 27名 ・シジミガイ漁業 37名 ・ホタテガイ漁業 32名 ・刺網漁業（カレイ等） 32名 ・さけ定置網漁業 32名 ・その他兼業 <p>（ホッカイシマエビ籠漁業、ツブ籠漁業、シラウオ漁業 ウニ・ナマコ桁網漁業）</p> <p>漁業者数：正組合員 69名（令和 5 年 1 1 月 1 日現在）</p>
-------------------	--

2 地域の現状

(1) 関連する水産業を取り巻く現状等

西網走地区地域水産業再生委員会が所管する地区は、北海道の北東部オホーツク管内の南部に位置しており、網走湖、能取湖及び網走川など周辺河川を中心に農業、畜産業、林業、漁業といった第一次産業が盛んな地域である。

西網走漁業協同組合は、北海道では最大規模の内水面漁業協同組合であり、69名の組合員が網走湖、能取湖及び網走川など周辺河川を漁場として営んでおり、令和 4 年の水揚げ量は約 5, 000 t、水揚げ金額は約 16 億円で、地域の基幹産業として重要な役割を果たしている。

当地区の主要魚種は、ホタテガイ（稚貝・成貝）、シジミガイ、ワカサギで、シジミガイは北海道全体の 8 割強を生産しており、またワカサギは漁獲した親魚から生産した種卵を道外含む各地に供給している。

しかし、水揚げ量は年変動が大きく、また魚価についても主要産地の漁獲状況により影響を受けやすい状況から、安定的な漁業経営には至っておらず、増養殖事業及び資源管理の推進による水揚げの安定及び他産地の漁獲に左右されない単価形成が地域の課題となっている。

漁業者の経営経費に大きな割合を占めている漁船燃油環境については、長引く原油取引価格の高止まりや円安により、漁業用燃料はもとより資材等の漁業経費の増加を招き漁業経営を圧迫しており、経営補削減に向けた取り組みを進める必要がある。

(2) その他の関連する現状等

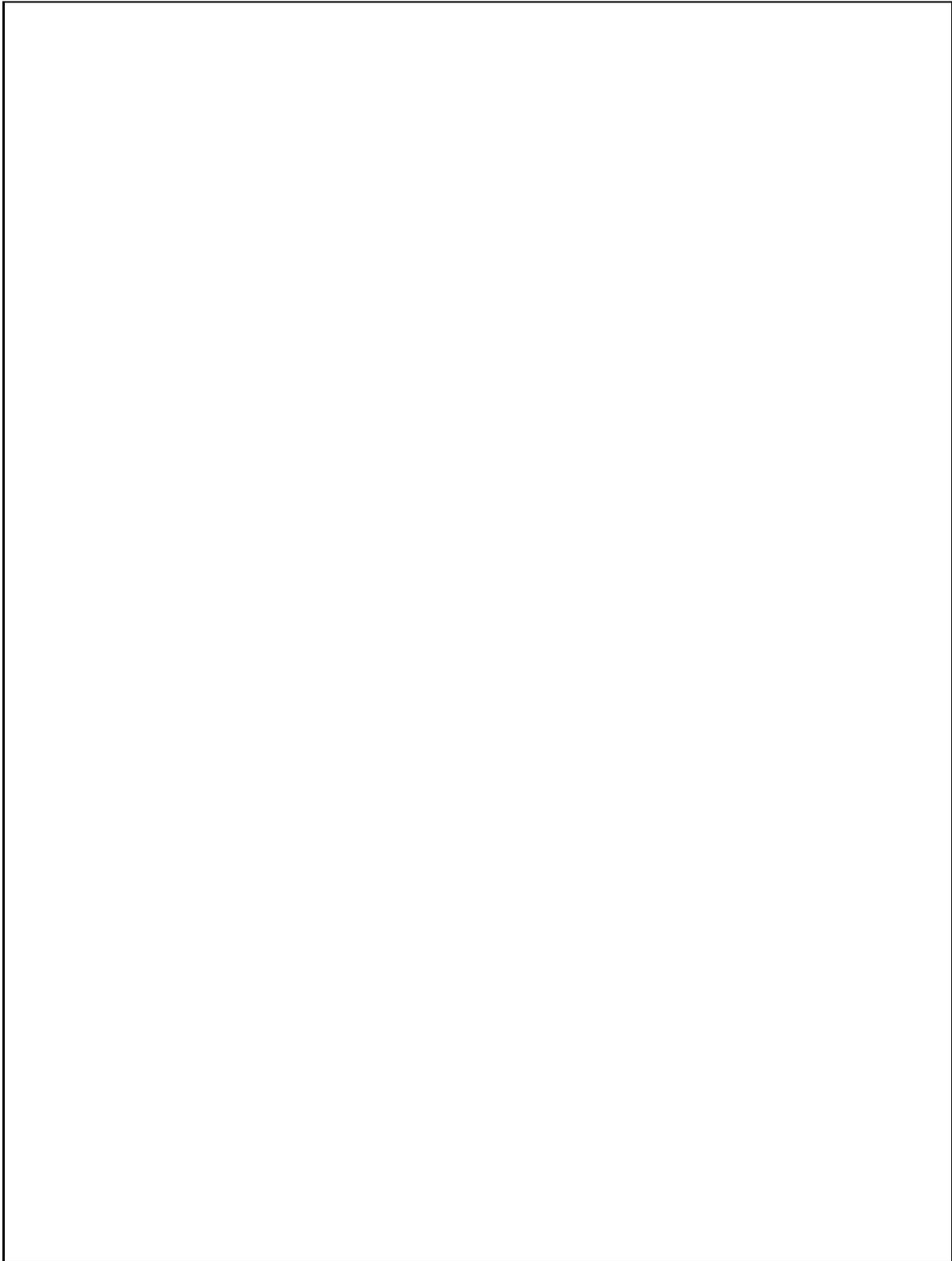
当地区で生産される水産物は、その多くが地域の特産物として、観光土産、地域イベント等で利用されている。また、観光協会と連携して、観光客・市民向けに夏のシジミ採捕、冬のワカサギ釣りを行っている。その利用者は年々増加（H25～H29平均21,730人→（H30～R4平均23,583人）しており、水産と観光を結びつけた地域活性化に取り組んでいる。

当地区は、環境の変化による影響を受けやすい内水面を漁場としていることから、持続的に水産資源を利用するべく環境保全活動（植樹、清掃活動、周辺パトロール、水質モニタリング、シンポジウム開催等）に積極的に取り組んでおり、この活動の継続、さらなる発展を目指して、周辺自治体、農協、森林組合、大学、研究機関等各団体と連携・一般市民への啓蒙を図る組織、「網走川流域の会」を立ち上げて進めている。

3 活性化の取組方針

(1) 前期の浜の活力再生プランにかかる成果及び課題等

--



(2) 今期の浜の活力再生プランの基本方

1. 漁業収入向上のための取組

(1) 水産資源の安定増大と資源を保全する取組

- ① 害敵駆除等による漁場改善（ホタテ、ワカサギ）
能取湖において、ホタテガイ稚貝の放流直前にヒトデ等の害敵駆除について、駆除体制強化を図り漁場環境の改善に努める。
ウグイ、トゲウオの駆除について効果的手法の検討を行う。

②ホタテガイ種苗安定生産の促進

- ・ホタテガイ稚貝を大型種苗で放流し、成長促進及び生残率向上、漁獲サイズの大型化を図り、成員の漁獲量及び魚価向上に取り組む。
- ・ホタテガイ漁業者と西網走漁協は、関係機関の協力を受け、昨年発生した、ホタテガイ稚貝の大量へい死再発防止に向けた試験に取り組む。

③シジミガイの資源増大対策

- ・シジミ漁業者及び西網走漁協は、シジミの人工種苗生産・種苗放流に取り組むとともに、網走湖において、シジミ種苗の放流前に漁場耕耘（底質改善）を行い、資源量の増加に取り組む。
- また、シジミ天然貝の産卵促進に必要な塩分刺激を与えるため、網走川可動堰を管理している北海道開発局に、適宜海水を導水するよう要請する。

④さけの資源増大

- ・さけ定置網の漁業権を取得したため、能取湖においてさけの増殖事業に取り組み、さけ資源の増大を図る。

⑤ワカサギ・クロガシラカレイ資源の増大対策

- ・網走湖においてワカサギの人工種苗生産及び放流の拡充と、ウグイ、トゲウオ等の害敵駆除と、効果的手法の検討に務め、資源量の増加に取り組む。
- ・能取湖において、クロガシラカレイの人工種苗生産・種苗放流について拡充を図り資源量の増加に取り組む。

⑥その他の取組

- ・漁場環境、水産資源の保全活動に取り組む。

(2) 魚価向上や販路拡大の取組

①品質向上の取組

- ・シジミの品質向上のため、臭気分析の基準を超えた場合、改善が確認されるまで休漁することし、高品質なものを出荷することで、価格の向上に取り組む。
- ・シラウオ漁業者及び西網走漁協は、大半が道外に流通するシラウオについて、鮮度保持の強化による品質向上により魚価向上に取り組む。
- ・ワカサギ漁業者及び西網走漁協は、魚価向上のためワカサギの鮮度保持に取り組む。

② 販路拡大の取組

- ・網走市と連携し、近隣市町及び大消費地への販売促進戦略を検討する。
- ・観光協会等関連団体や飲食店と連携し、観光資源としての活用強化を図り、知名度アップに取り組む。

2. 漁業コスト削減のための取組

(1) 省エネ活動等による省コスト化

- ① 燃費の良い速度で漁船を航行するとともに、船底清掃を徹底して、使用する燃油量の削減を図る。
- ② 休漁日等の設定を増やし、操業時間の見直しによる漁業用燃油経費の削減を図る。
- ③ 漁業経営セーフティネット構築事業への加入促進に取り組む。

(2) 協業化などによる合理化

- ① ワカサギ漁業者は、協同経営化による漁船隻数の削減に取り組む、漁業経費の削減に取り組む。
- ② 網走湖の全漁業者は、整備された第1種呼人漁港を活用し、入出港の安全性を確

保にするとともに、漁船の破損防止や沖止まり等による時間や経費の削減に取り組む。

3. 漁村活性化のための取組

(1) 漁業就労者の確保

- ① 地域漁業の魅力を積極的にPRし、研修制度を充実させ、新規漁業就業者の確保・育成に取り組む。
- ② 新規就業者の確保、若手漁業者の育成を推進するため、漁業青年部及び漁業士の活動を支援する。

(2) 女性部活動の促進

- ① 地域の魅力を高め、地域活動の活性化を図るため、漁村の女性の活動について促進・支援に取り組む。
- ② 漁家の家庭料理、漁村の地域資源をPRする漁協女性部の活動の支援に取り組む。

(3) その他の取組

- ① 地域の魚食普及の推進による「魚離れ」対策と、学校給食への地元水産物の活用により消費の拡大に取り組む。

(3) 資源管理に係る取組

- ・共同漁業権における規制・制限措置の設定
- ・資源調査、稚仔発生量調査、産卵調査を実施し資源の持続的利用。

(4) 具体的な取組内容

1年目（令和6年度） 所得向上率（基準年比）2.2%

漁業収入向上のための取組	<p>(1) 水産資源の増大と資源を保全する取組</p> <p>①ホタテガイ漁業</p> <ul style="list-style-type: none">・ホタテガイ漁業者及び西網走漁協は、能取湖において、ホタテガイ稚貝の放流直前にヒトデ等の害敵駆除について、ヒトデ籠の使用による駆除体制強化を図り漁場環境の改善に努める。・ホタテガイ漁業者及び西網走漁協はホタテガイ稚貝放流を大型種苗（4cm）で実施し、放流したホタテガイ成長促進及び生残率向上、漁獲サイズの大型化を図ることで、成員の漁獲量及び漁価向上を目指す。・ホタテガイ漁業者と西網走漁協は、関係機関の協力を受け、昨年発生したホタテガイ稚貝の大量へい死再発防止に向けた試験を行い成果のあるものについて実行していく。 <p>②シジミ漁業</p> <ul style="list-style-type: none">・シジミ漁業者及び西網走漁協は、取得した種苗生産設備を活用し、シジミの人工種苗生産・放流の拡充に取り組むとともに、網走湖において、シジミ種苗の放流前に漁場耕耘（底質改善）を行い、資源量の増加を図る。 <p>また、シジミ天然貝の産卵促進に必要な塩分刺激を与えるため、網走川可動堰を管理している北海道開発局に、適宜海水を導水するよう要請する。</p> <p>③ワカサギ漁業</p> <ul style="list-style-type: none">・ワカサギ漁業者及び西網走漁協は、網走湖においてワカサギの人
--------------	--

	<p>工種苗生産及び放流の拡充に取り組み、全国各地へ受精卵の出荷を行うほか、放流前にはウグイ、トゲウオ等の害敵駆除に努め、効果的手法の検討も行い資源量の増加を図る。</p> <p>④刺し網漁業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・刺網漁業者及び西網走漁協は、能取湖において、クロガシラガレイの人工種苗生産・種苗放流に取り組み資源量の増加を目指す。放流後の生残率等の状況把握に努め、必要に応じて、研究機関の協力を得て原因調査を行い、その対策に努める。 <p>⑤さけ定置網業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定置漁業者及び西網走漁協は、能取湖において、さけの稚魚の種苗放流に取り組むことで資源量の増加を目指す。放流後の生残率等の状況把握に努め、必要に応じて、研究機関の協力を得て原因調査を行い、その対策に努める。 <p>⑥その他の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全漁業者及び西網走漁協は水産資源の維持、増大及び持続的利用を目指して、関係機関と連携して、網走湖、能取湖及び周辺河川の環境の保全を推進する活動（清掃・植樹活動等）に取り組む。 <p>(2) 魚価向上や販路拡大の取組</p> <p>①品質向上の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シジミ漁業者と西網走漁協は、シジミの品質安定による価格の向上と食品としての安全性向上を図るべく、関係機関と連携して食味試験や臭気分析試験を実施する。 ・シジミ漁業者と西網走漁協は、シジミの臭気分析により原因物質が基準を超えた場合、改善が確認されるまで休漁することし、高品質もののみを出荷することで、価格の向上を図る。 ・シラウオ漁業者及び西網走漁協は、大半が道外に流通するシラウオについて、船上で選別し、氷の使用による鮮度保持の強化による品質向上により魚価向上を図る。 ・ワカサギ漁業者及び西網走漁協は、船上で選別し、氷の使用によるワカサギの鮮度保持に取り組み、魚価向上を図る。 <p>②販路拡大の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全漁業者と西網走漁協は、網走市と連携し、近隣市町及び大消費地への販売促進戦略として一部店舗に無償で、ワカサギ・シラウオを配布するとともに、配布先の店舗にアンケートを実施し、今後の普及宣伝等に役立てる。 ・全漁業者と西網走漁協は、観光協会等関連団体と連携し、網走湖におけるワカサギ釣りの観光資源としての活用を強化するため、イベントや道の駅での販売促進、観地元宿泊施設・飲食店との共同企画による水産フェア等、知名度アップに取り組む。
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>(1) 省エネ活動等による省コスト化</p> <p>①全漁業者は、漁船上架時の船底・プロペラ清掃の実施や最も燃費が良い速度で航行及び漁場情報の共有により、燃費向上による漁業経費の削減を図る。</p> <p>②全漁業者は、休漁日等の設定を増やし、操業時間の見直しによる漁業用燃油経費の削減を図る。</p>

	<p>③全漁業者は、漁業経営セーフティーネット構築事業への加入を促進し、全漁業者の加入を目指す。</p> <p>(2) 協業化などによる合理化</p> <p>①ワカサギ漁業者は、協同経営化による漁船隻数の削減に取り組み、人員不足の解消、漁業経費の削減を図る。</p> <p>②網走湖の全漁業者は、整備された第1種呼人漁港を活用し、入出港の安全性を確保するとともに、漁船の破損防止や沖止まり等による時間や経費の削減を図る。</p>
漁村の活性化のための取組	<p>(1) 漁業就労者の確保</p> <p>①西網走漁協はホームページ等を活用して地域漁業の魅力を積極的にPRし、初心者向けの研修制度を充実させて、新規漁業就業者の確保・育成を図る。</p> <p>②西網走漁協は、新規就業者の確保、若手漁業者の育成を推進するための漁業青年部及び漁業士の人員増加の活動を支援する。</p> <p>(2) 女性部活動の促進</p> <p>①西網走漁協は、地域の魅力を高め、地域活動の活性化を図るため、漁業女性部をはじめとする漁村の女性の人員増加の活動を促進・支援を実施する。</p> <p>②西網走漁協は、漁家の家庭料理、漁村の地域資源をPRする漁協女性部の人員増加の活動を支援する。</p> <p>(3) その他の取組</p> <p>①西網走漁協及び漁協青年部・女性部は地元小学校への出前水産教室の開催により、地域の魚食普及の推進による「魚離れ」対策と、学校給食への地元水産物の積極的活用を要請し消費の拡大を図る。</p>
活用する支援措置等	<ul style="list-style-type: none"> ・漁村再生交付金（国） ・省燃油活動推進事業（国） ・漁業経営セーフティーネット構築事業（国） ・競争力強化型機器等導入緊急対策事業（国） ・浜の担い手漁船リース緊急事業（国） ・漁業近代化資金（国・道・市） ・漁業者保証円滑化対策事業（国）

2年目（令和7年度） 所得向上率（基準年比）4.2%

漁業収入向上のための取組	<p>(1) 水産資源の増大と資源を保全する取組</p> <p>①ホタテガイ漁業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホタテガイ漁業者及び西網走漁協は、能取湖において、ホタテガイ稚貝の放流直前にヒトデ等の害敵駆除について、ヒトデ籠の使用による駆除体制強化を図り漁場環境の改善に努める。 ・ホタテガイ漁業者及び西網走漁協はホタテガイ稚貝放流を大型種苗（4cm）で実施し、放流したホタテガイ成長促進及び生残率向上、漁獲サイズの大型化を図ることで、成貝の漁獲量及び漁価向上を目指す。 ・ホタテガイ漁業者と西網走漁協は、関係機関の協力を受け、昨
--------------	---

年発生したホタテガイ稚貝の大量へい死再発防止に向けた試験を行い成果のあるものについて実行していく。

②シジミ漁業

- ・シジミ漁業者及び西網走漁協は、取得した種苗生産設備を活用し、シジミの人工種苗生産・放流の拡充に取り組むとともに、網走湖において、シジミ種苗の放流前に漁場耕耘（底質改善）を行い、資源量の増加を図る。
また、シジミ天然貝の産卵促進に必要な塩分刺激を与えるため、網走川可動堰を管理している北海道開発局に、適宜海水を導水するよう要請する。

③ワカサギ漁業

- ・ワカサギ漁業者及び西網走漁協は、網走湖においてワカサギの人工種苗生産及び放流の拡充に取り組み、全国各地へ受精卵の出荷を行うほか、放流前にはウグイ、トゲウオ等の害敵駆除に努め、効果的手法の検討も行う資源量の増加を図る。

④刺し網漁業

- ・刺し網漁業者及び西網走漁協は、能取湖において、クロガシラガレイの人工種苗生産・種苗放流に取り組み資源量の増加を目指す。放流後の生残率等の状況把握に努め、必要に応じて、研究機関の協力を得て原因調査を行い、その対策に努める。

⑤さけ定置網業

- ・定置漁業者及び西網走漁協は、能取湖において、さけの稚魚の種苗放流に取り組むことで資源量の増加を目指す。放流後の生残率等の状況把握に努め、必要に応じて、研究機関の協力を得て原因調査を行い、その対策に努める。

⑥その他の取組

- ・全漁業者及び西網走漁協は水産資源の維持、増大及び持続的利用を目指して、関係機関と連携して、網走湖、能取湖及び周辺河川の環境の保全を推進する活動（清掃・植樹活動等）に取り組む。

(2) 魚価向上や販路拡大の取組

①品質向上の取組

- ・シジミ漁業者と西網走漁協はシジミの品質安定による価格の向上と食品としての安全性向上を図るべく、関係機関と連携して食味試験や臭気分析試験を実施する。
- ・シジミ漁業者と西網走漁協はシジミの臭気分析により原因物質が基準を超えた場合、改善が確認されるまで休漁することし、高品質もののみを出荷することで、価格の向上を図る。
- ・シラウオ漁業者及び西網走漁協は、大半が道外に流通するシラウオについて、船上で選別し、氷の使用による鮮度保持の強化による品質向上により魚価向上を図る。
- ・ワカサギ漁業者及び西網走漁協は、船上で選別し、氷の使用によるワカサギの鮮度保持に取り組み、魚価向上を図る。

②販路拡大の取組

- ・全漁業者と西網走漁協は、網走市と連携し、近隣市町及び大消費地への販売促進戦略として一部店舗に無償で、ワカサギ・シラウオを配布し宣伝するとともに、販売先の各店舗にアンケー

	<p>トを実施し、今後の普及宣伝等に役立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全漁業者と西網走漁協は、観光協会等関連団体と連携し、網走湖におけるワカサギ釣りの観光資源としての活用を強化するため、イベントや道の駅での販売促進、観地元宿泊施設・飲食店との共同企画による水産フェア等、知名度アップに取り組む。
漁業コスト削減のための取組	<p>(1) 省エネ活動等による省コスト化</p> <ul style="list-style-type: none"> ①全漁業者は、漁船上架時の船底・プロペラ清掃の実施や最も燃費が良い速度で航行及び漁場情報の共有により、燃費向上による漁業経費の削減を図る。 ②全漁業者は、休漁日等の設定を増やし、操業時間の見直しによる漁業用燃油経費の削減を図る。 ③全漁業者は、漁業経営セーフティーネット構築事業への加入を促進し、全漁業者の加入を目指す。 <p>(2) 協業化などによる合理化</p> <ul style="list-style-type: none"> ①ワカサギ漁業者は、協同経営化による漁船隻数の削減に取り組み、人員不足の解消、漁業経費の削減を図る。 ②網走湖の全漁業者は、整備された第1種呼人漁港を活用し、入出港の安全性を確保にするとともに、漁船の破損防止や沖止まり等による時間や経費の削減を図る。
漁村の活性化のための取組	<p>(1) 漁業就労者の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ①西網走漁協はホームページ等を活用して地域漁業の魅力を積極的にPRし、初心者向けの研修制度を充実させて、新規漁業就業者の確保・育成を図る。 ②西網走漁協は、新規就業者の確保、若手漁業者の育成を推進するための漁業青年部及び漁業士の人員増加の活動を支援する。 <p>(2) 女性部活動の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ①西網走漁協は、地域の魅力を高め、地域活動の活性化を図るため、漁業女性部をはじめとする漁村の女性の人員増加の活動を促進・支援を実施する。 ②西網走漁協は、漁家の家庭料理、漁村の地域資源をPRする漁協女性部の人員増加の活動を支援する。 <p>(3) その他の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ①西網走漁協及び漁協青年部・女性部は地元小学校への出前水産教室の開催により、地域の魚食普及の推進による「魚離れ」対策と、学校給食への地元水産物の積極的活用を要請し消費の拡大を図る。
活用する支援措置等	<ul style="list-style-type: none"> ・漁村再生交付金（国） ・省燃油活動推進事業（国） ・漁業経営セーフティーネット構築事業（国） ・競争力強化型機器等導入緊急対策事業（国） ・浜の担い手漁船リース緊急事業（国） ・漁業近代化資金（国・道・市） ・漁業者保証円滑化対策事業（国）

<p>漁業収入向上 のための取 組</p>	<p>(1) 水産資源の増大と資源を保全する取組</p> <p>①ホタテガイ漁業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホタテガイ漁業者及び西網走漁協は、能取湖において、ホタテガイ稚貝の放流直前にヒトデ等の害敵駆除について、ヒトデ籠の使用による駆除体制強化を図り漁場環境の改善に努める。 ・ホタテガイ漁業者及び西網走漁協はホタテガイ稚貝放流を大型種苗（4cm）で実施し、放流したホタテガイ成長促進及び生残率向上、漁獲サイズの大型化を図ることで、成員の漁獲量及び漁価向上を目指す。 ・ホタテガイ漁業者と西網走漁協は、関係機関の協力を受け、昨年発生したホタテガイ稚貝の大量へい死再発防止に向けた試験を行い成果のあるものについて実行していく。 <p>②シジミ漁業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シジミ漁業者及び西網走漁協は、取得した種苗生産設備を活用し、シジミの人工種苗生産・放流の拡充に取り組みとともに、網走湖において、シジミ種苗の放流前に漁場耕耘（底質改善）を行い、資源量の増加を図る。 また、シジミ天然貝の産卵促進に必要な塩分刺激を与えるため、網走川可動堰を管理している北海道開発局に、適宜海水を導水するよう要請する。 <p>③ワカサギ漁業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワカサギ漁業者及び西網走漁協は、網走湖においてワカサギの人工種苗生産及び放流の拡充に取り組み、全国各地へ受精卵の出荷を行うほか、放流前にはウグイ、トゲウオ等の害敵駆除に努め、資源量の増加を図る。 <p>④刺し網漁業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・刺し網漁業者及び西網走漁協は、能取湖において、クロガシラガレイの人工種苗生産・種苗放流に取り組み資源量の増加を目指す。放流後の生残率等の状況把握に努め、必要に応じて、研究機関の協力を得て原因調査を行い、その対策に努める。 <p>⑤さけ定置網業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定置漁業者及び西網走漁協は、能取湖において、さけの稚魚の種苗放流に取り組みことで資源量の増加を目指す。放流後の生残率等の状況把握に努め、必要に応じて、研究機関の協力を得て原因調査を行い、その対策に努める。 <p>⑥その他の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全漁業者及び西網走漁協は水産資源の維持、増大及び持続的利用を目指して、関係機関と連携して、網走湖、能取湖及び周辺河川の環境の保全を推進する活動（清掃・植樹活動等）に取り組み。 <p>(2) 魚価向上や販路拡大の取組</p> <p>①品質向上の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シジミ漁業者と西網走漁協はシジミの品質安定による価格の向上と食品としての安全性向上を図るべく、関係機関と連携して食味試験や臭気分析試験を実施する。 ・シジミ漁業者と西網走漁協はシジミの臭気分析により原因物質
-------------------------------	--

	<p>が基準を超えた場合、改善が確認されるまで休漁することし、高品質もののみを出荷することで、価格の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シラウオ漁業者及び西網走漁協は、大半が道外に流通するシラウオについて、船上で選別し、氷の使用による鮮度保持の強化による品質向上により魚価向上を図る。 ・ワカサギ漁業者及び西網走漁協は、船上で選別し、氷の使用によるワカサギの鮮度保持に取り組み、魚価向上を図る。 <p>②販路拡大の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全漁業者と西網走漁協は、網走市と連携し、近隣市町及び大消費地への販売促進戦略として一部店舗に無償で、ワカサギ・シラウオを配布し宣伝を行うとともに、実施したアンケート結果を基に販路拡大に向けた普及宣伝方法等の検討を行う。 ・全漁業者と西網走漁協は、観光協会等関連団体と連携し、網走湖におけるワカサギ釣りの観光資源としての活用を強化するため、イベントや道の駅での販売促進、観地元宿泊施設・飲食店との共同企画による水産フェア等、知名度アップに取り組む。
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>(1) 省エネ活動等による省コスト化</p> <ul style="list-style-type: none"> ①全漁業者は、漁船上架時の船底・プロペラ清掃の実施や最も燃費が良い速度で航行及び漁場情報の共有により、燃費向上による漁業経費の削減を図る。 ②全漁業者は、休漁日等の設定を増やし、操業時間の見直しによる漁業用燃油経費の削減を図る。 ③全漁業者は、漁業経営セーフティーネット構築事業への加入を促進し、全漁業者の加入を目指す。 <p>(2) 協業化などによる合理化</p> <ul style="list-style-type: none"> ①ワカサギ漁業者は、協同経営化による漁船隻数の削減に取り組み、人員不足の解消、漁業経費の削減を図る。 ②網走湖の全漁業者は、整備された第1種呼人漁港を活用し、入出港の安全性を確保するとともに、漁船の破損防止や沖止まり等による時間や経費の削減を図る。
<p>漁村の活性化のための取組</p>	<p>(1) 漁業就労者の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ①西網走漁協はホームページ等を活用して地域漁業の魅力を積極的にPRし、初心者向けの研修制度を充実させて、新規漁業就業者の確保・育成を図る。 ②西網走漁協は、新規就業者の確保、若手漁業者の育成を推進するための漁業青年部及び漁業士の人員増加の活動を支援する。 <p>(2) 女性部活動の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ①西網走漁協は、地域の魅力を高め、地域活動の活性化を図るため、漁業女性部をはじめとする漁村の女性の人員増加の活動を促進・支援を実施する。 ②西網走漁協は、漁家の家庭料理、漁村の地域資源をPRする漁協女性部の人員増加の活動を支援する。

	<p>(3) その他の取組</p> <p>①西網走漁協及び漁協青年部・女性部は地元小学校への出前水産教室の開催により、地域の魚食普及の推進による「魚離れ」対策と、学校給食への地元水産物の積極的活用を要請し消費の拡大を図る。</p>
活用する支援措置等	<ul style="list-style-type: none"> ・漁村再生交付金（国） ・省燃油活動推進事業（国） ・漁業経営セーフティーネット構築事業（国） ・競争力強化型機器等導入緊急対策事業（国） ・浜の担い手漁船リース緊急事業（国） ・漁業近代化資金（国・道・市） ・漁業者保証円滑化対策事業（国）

4年目（令和9年度） 所得向上率（基準年比）8.1%

漁業収入向上のための取組	<p>(1) 水産資源の増大と資源を保全する取組</p> <p>①ホタテガイ漁業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホタテガイ漁業者及び西網走漁協は、能取湖において、ホタテガイ稚貝の放流直前にヒトデ等の害敵駆除について、ヒトデ籠の使用による駆除体制強化を図り漁場環境の改善に努める。 ・ホタテガイ漁業者及び西網走漁協はホタテガイ稚貝放流を大型種苗（4cm）で実施し、放流したホタテガイ成長促進及び生残率向上、漁獲サイズの大型化を図ることで、成貝の漁獲量及び漁価向上を目指す。 ・ホタテガイ漁業者と西網走漁協は、関係機関の協力を受け、昨年発生したホタテガイ稚貝の大量へい死再発防止に向けた試験を行い成果のあるものについて実行していく。 <p>②シジミ漁業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シジミ漁業者及び西網走漁協は、取得した種苗生産設備を活用し、シジミの人工種苗生産・放流の拡充に取り組むとともに、網走湖において、シジミ種苗の放流前に漁場耕耘（底質改善）を行い、資源量の増加を図る。 <p>また、シジミ天然貝の産卵促進に必要な塩分刺激を与えるため、網走川可動堰を管理している北海道開発局に、適宜海水を導水するよう要請する。</p> <p>③ワカサギ漁業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワカサギ漁業者及び西網走漁協は、網走湖においてワカサギの人工種苗生産及び放流の拡充に取り組み、全国各地へ受精卵の出荷を行うほか、放流前にはウグイ、トゲウオ等の害敵駆除に努め、資源量の増加を図る。 <p>④刺し網漁業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・刺し網漁業者及び西網走漁協は、能取湖において、クロガシラガレイの人工種苗生産・種苗放流に取り組み資源量の増加を目指す。放流後の生残率等の状況把握に努め、必要に応じて、研究機関の協力を得て原因調査を行い、その対策に努める。 <p>⑤さけ定置網業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定置漁業者及び西網走漁協は、能取湖において、さけの稚魚の種苗放流に取り組むことで資源量の増加を目指す。放流後の生
--------------	---

	<p>残率等の状況把握に努め、必要に応じて、研究機関の協力を得て原因調査を行い、その対策に努める。</p> <p>⑥その他の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全漁業者及び西網走漁協は水産資源の維持、増大及び持続的利用を目指して、関係機関と連携して、網走湖、能取湖及び周辺河川の環境の保全を推進する活動（清掃・植樹活動等）に取り組む。 <p>(2) 魚価向上や販路拡大の取組</p> <p>①品質向上の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シジミ漁業者と西網走漁協はシジミの品質安定による価格の向上と食品としての安全性向上を図るべく、関係機関と連携して食味試験や臭気分析試験を実施する。 ・シジミ漁業者と西網走漁協はシジミの臭気分析により原因物質が基準を超えた場合、改善が確認されるまで休漁することし、高品質もののみを出荷することで、価格の向上を図る。 ・シラウオ漁業者及び西網走漁協は、大半が道外に流通するシラウオについて、船上で選別し、氷の使用による鮮度保持の強化による品質向上により魚価向上を図る。 ・ワカサギ漁業者及び西網走漁協は、船上で選別し、氷の使用によるワカサギの鮮度保持に取り組み、魚価向上を図る。 <p>②販路拡大の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全漁業者と西網走漁協は、網走市と連携し、近隣市町及び大消費地への販売促進戦略として一部店舗に無償で、ワカサギ・シラウオを配布し宣伝を行うとともに、検討した結果を基に販路拡大先を選定し、出荷を図る。 ・全漁業者と西網走漁協は、観光協会等関連団体と連携し、網走湖におけるワカサギ釣りの観光資源としての活用を強化するため、イベントや道の駅での販売促進、観地元宿泊施設・飲食店との共同企画による水産フェア等、知名度アップに取り組む。
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>(1) 省エネ活動等による省コスト化</p> <p>①全漁業者は、漁船上架時の船底・プロペラ清掃の実施や最も燃費が良い速度で航行及び漁場情報の共有により、燃費向上による漁業経費の削減を図る。</p> <p>②全漁業者は、休漁日等の設定を増やし、操業時間の見直しによる漁業用燃油経費の削減を図る。</p> <p>③全漁業者は、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を促進し、全漁業者の加入を目指す。</p> <p>(2) 協業化などによる合理化</p> <p>①ワカサギ漁業者は、協同経営化による漁船隻数の削減に取り組む、人員不足の解消、漁業経費の削減を図る。</p> <p>②網走湖の全漁業者は、整備された第1種呼人漁港を活用し、入出港の安全性を確保にするとともに、漁船の破損防止や沖止まり等による時間や経費の削減を図る。</p>

<p>漁村の活性化 のための取組</p>	<p>(1) 漁業就労者の確保</p> <p>①西網走漁協はホームページ等を活用して地域漁業の魅力を積極的にPRし、初心者向けの研修制度を充実させて、新規漁業就業者の確保・育成を図る。</p> <p>②西網走漁協は、新規就業者の確保、若手漁業者の育成を推進するための漁業青年部及び漁業士の人員増加の活動を支援する。</p> <p>(2) 女性部活動の促進</p> <p>①西網走漁協は、地域の魅力を高め、地域活動の活性化を図るため、漁業女性部をはじめとする漁村の女性の人員増加の活動を促進・支援を実施する。</p> <p>②西網走漁協は、漁家の家庭料理、漁村の地域資源をPRする漁協女性部の人員増加の活動を支援する。</p> <p>(3) その他の取組</p> <p>①西網走漁協及び漁協青年部・女性部は地元小学校への出前水産教室の開催により、地域の魚食普及の推進による「魚離れ」対策と、学校給食への地元水産物の積極的活用を要請し消費の拡大を図る。</p>
<p>活用する支援 措置等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・漁村再生交付金（国） ・省燃油活動推進事業（国） ・漁業経営セーフティネット構築事業（国） ・競争力強化型機器等導入緊急対策事業（国） ・浜の担い手漁船リース緊急事業（国） ・漁業近代化資金（国・道・市） ・漁業者保証円滑化対策事業（国）

5年目（令和10年度） 所得向上率（基準年比）10.1%

<p>漁業収入向上 のための取 組</p>	<p>(1) 水産資源の増大と資源を保全する取組</p> <p>①ホタテガイ漁業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホタテガイ漁業者及び西網走漁協は、能取湖において、ホタテガイ稚貝の放流直前にヒトデ等の害敵駆除について、ヒトデ籠の使用による駆除体制強化を図り漁場環境の改善に努める。 ・ホタテガイ漁業者及び西網走漁協はホタテガイ稚貝放流を大型種苗（4cm）で実施し、放流したホタテガイ成長促進及び生残率向上、漁獲サイズの大型化を図ることで、成貝の漁獲量及び漁価向上を目指す。 ・ホタテガイ漁業者と西網走漁協は、関係機関の協力を受け、昨年発生したホタテガイ稚貝の大量へい死再発防止に向けた試験を行い成果のあるものについて実行していく。 <p>②シジミ漁業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シジミ漁業者及び西網走漁協は、取得した種苗生産設備を活用し、シジミの人工種苗生産・放流の拡充に取り組むとともに、網走湖において、シジミ種苗の放流前に漁場耕耘（底質改善）を行い、資源量の増加を図る。 <p>また、シジミ天然貝の産卵促進に必要な塩分刺激を与えるため、網走川可動堰を管理している北海道開発局に、適宜海水を</p>
-------------------------------	---

	<p>導水するよう要請する。</p> <p>③ワカサギ漁業</p> <ul style="list-style-type: none"> ワカサギ漁業者及び西網走漁協は、網走湖においてワカサギの人工種苗生産及び放流の拡充に取り組み、全国各地へ受精卵の出荷を行うほか、放流前にはウグイ、トゲウオ等の害敵駆除に努め、資源量の増加を図る。 <p>④刺し網漁業</p> <ul style="list-style-type: none"> 刺網漁業者及び西網走漁協は、能取湖において、クロガシラガレイの人工種苗生産・種苗放流に取り組み資源量の増加を目指す。放流後の生残率等の状況把握に努め、必要に応じて、研究機関の協力を得て原因調査を行い、その対策に努める。 <p>⑤さけ定置網業</p> <ul style="list-style-type: none"> 定置漁業者及び西網走漁協は、能取湖において、さけの稚魚の種苗放流に取り組み資源量の増加を目指す。放流後の生残率等の状況把握に努め、必要に応じて、研究機関の協力を得て原因調査を行い、その対策に努める。 <p>⑥その他の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 全漁業者及び西網走漁協は水産資源の維持、増大及び持続的利用を目指して、関係機関と連携して、網走湖、能取湖及び周辺河川の環境の保全を推進する活動（清掃・植樹活動等）に取り組む。 <p>(2) 魚価向上や販路拡大の取組</p> <p>①品質向上の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> シジミ漁業者と西網走漁協はシジミの品質安定による価格の向上と食品としての安全性向上を図るべく、関係機関と連携して食味試験や臭気分析試験を実施する。 シジミ漁業者と西網走漁協はシジミの臭気分析により原因物質が基準を超えた場合、改善が確認されるまで休漁することし、高品質もののみを出荷することで、価格の向上を図る。 シラウオ漁業者及び西網走漁協は、大半が道外に流通するシラウオについて、船上で選別し、氷の使用による鮮度保持の強化による品質向上により魚価向上を図る。 ワカサギ漁業者及び西網走漁協は、船上で選別し、氷の使用によるワカサギの鮮度保持に取り組み、魚価向上を図る。 <p>②販路拡大の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 全漁業者と西網走漁協は、網走市と連携し、近隣市町及び大消費地への販売促進戦略として一部店舗に無償で、ワカサギ・シラウオを配布し宣伝を行うとともに、これまでの取り組みを基に販路拡大を図る。 全漁業者と西網走漁協は、観光協会等関連団体と連携し、網走湖におけるワカサギ釣りの観光資源としての活用を強化するため、イベントや道の駅での販売促進、観地元宿泊施設・飲食店との共同企画による水産フェア等、知名度アップに取り組む。
<p>漁業コスト削減のための取</p>	<p>(1) 省エネ活動等による省コスト化</p> <p>①全漁業者は、漁船上架時の船底・プロペラ清掃の実施や最も燃費が良い速度で航行及び漁場情報の共有により、燃費向上による漁</p>

組	<p>業経費の削減を図る。</p> <p>②全漁業者は、休漁日等の設定を増やし、操業時間の見直しによる漁業用燃油経費の削減を図る。</p> <p>③全漁業者は、漁業経営セーフティーネット構築事業への加入を促進し、全漁業者の加入を目指す。</p> <p>(2) 協業化などによる合理化</p> <p>①ワカサギ漁業者は、協同経営化による漁船隻数の削減に取り組み、人員不足の解消、漁業経費の削減を図る。</p> <p>②網走湖の全漁業者は、整備された第1種呼人漁港を活用し、入出港の安全性を確保にするとともに、漁船の破損防止や沖止まり等による時間や経費の削減を図る。</p>
漁村の活性化のための取組	<p>(1) 漁業就労者の確保</p> <p>①西網走漁協はホームページ等を活用して地域漁業の魅力を積極的にPRし、初心者向けの研修制度を充実させて、新規漁業就業者の確保・育成を図る。</p> <p>②西網走漁協は、新規就業者の確保、若手漁業者の育成を推進するための漁業青年部及び漁業士の人員増加の活動を支援する。</p> <p>(2) 女性部活動の促進</p> <p>①西網走漁協は、地域の魅力を高め、地域活動の活性化を図るため、漁業女性部をはじめとする漁村の女性の人員増加の活動を促進・支援を実施する。</p> <p>②西網走漁協は、漁家の家庭料理、漁村の地域資源をPRする漁協女性部の人員増加の活動を支援する。</p> <p>(3) その他の取組</p> <p>①西網走漁協及び漁協青年部・女性部は地元小学校への出前水産教室の開催により、地域の魚食普及の推進による「魚離れ」対策と、学校給食への地元水産物の積極的活用を要請し消費の拡大を図る。</p>
活用する支援措置等	<ul style="list-style-type: none"> ・漁村再生交付金（国） ・省燃油活動推進事業（国） ・漁業経営セーフティーネット構築事業（国） ・競争力強化型機器等導入緊急対策事業（国） ・浜の担い手漁船リース緊急事業（国） ・漁業近代化資金（国・道・市） ・漁業者保証円滑化対策事業（国）

(5) 関係機関との連携

取組の効果が高められるよう、構成員である網走市はもとより、漁協内各部会や各関係団体との連携を密にするとともに、オブザーバーである北海道、各系統団体への支援、協力を求めながらプランの取り組みを遂行する。

(6) 取組の評価・分析の方法・実施体制

浜プランの取組の評価・分析するため、委員会は外部専門1名を委嘱し、毎年3月に開催する会員会議において、委員会事務局が策定した自己評価案に外部専門家による評価意見を付した浜プラン評価案を審議・決定し、次年度の取組の改善等につなげる。

4 目標

(1) 所得目標

漁業者の所得の 向上10%以上	基準年	
	目標年	

(2) 上記の算出方法及びその妥当性

--

(3) 所得目標以外の成果目標

燃油費の抑制	基準年	平成30年度～ 令和5年度平均	29,430	(千円)
	目標年	令和10年度	27,958	(千円)
新規漁業就業者数の増加	基準年	平成30年度～ 令和4年平均： 新規漁業就業者数	1	(人/年)
	目標年	令和6年度～ 10年平均： 新規漁業就業者数	2	(人/年)

(4) 上記の算出方法及びその妥当性

○所得向上の取組に係る成果目標：燃油費の抑制
平成30年度～令和4年度における燃油費実績の平均29,429千円を基準値とした。漁船上架時の船底・プロペラ清掃の実施や減速航行の徹底及び漁場情報の共有により、また、協同経営化による漁船隻数の削減の取組により5%削減し、全船における目標年の燃油費を27,958千円とした。

○漁村活性化の取組に係る成果目標：新規漁業就業者数の増加
 過去の漁業就業者数は、平成30年度1人、令和元年度0人、令和2年度1人、令和3年度1人、令和4年度2人（5年累計5人）となっており、令和6年度以降の目標として、ホームページ等を活用して地域漁業の魅力を積極的にPRし、初心者向けの研修制度を充実させることで、毎年度2人の新規漁業就業者の増員（累計10人）を図る。

5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生プランとの関係性
漁村再生交付金（国）	呼人漁港における突堤等の整備等による静穏対策により、効率的で安全な漁業活動が図られる。
省燃油活動推進事業（国）	省エネ活動の実践により、燃油消費量を削減する。
漁業経営セーフティネット構築事業（国）	燃油高騰などの経済的環境変化による影響を緩和し、漁労経費削減により漁業経営の安定を図る。
競争力強化型機器等導入緊急対策事業（国）	省力・省コスト化、生産性の向上に資する機器等の導入し、漁労経費削減により漁業経営の安定を図る。
漁業近代化資金（国・道・市）	機関換装等による省エネ機器の導入により、漁業経費の削減を図る。
漁業者保証円滑化対策事業（国）	漁業近代化資金借りに係る漁業者負担の軽減を図る。
浜の担い手漁船リース緊急事業（国）	省力・省コスト化、生産性の向上に資する漁船リースを活用し、漁労経費削減により漁業経営の安定を図る。